

第6回 NCNP メディア塾プログラム変更のお知らせ

「発達障害のサイエンスとメディア (宇野洋太)」のプログラムが変更になります。

■新プログラム:

4 施設見学プログラム 13:55~14:55

(2) 自閉スペクトラム症者へのロボットを用いた取り組みの研究現場

自閉スペクトラム症者は社会性やコミュニケーションの障害を特徴としますが自立に向けた支援は社会問題となっています。ヒトが主体となる介入ではモチベーションを持続することが難しい一方で、ロボットをはじめとしたテクノロジーに対する関心が強いことが分かっています。世界中においても徐々にロボットの実用化の動きが始まってきており、NCNP 初の稀少かつ様々なロボットを用いた取り組みの一端をご紹介します、体験頂きます。



熊崎博一 【くまざき ひろかず】 Hirokazu Kumazaki

精神保健研究所児童・予防精神医学研究部 児童・青年期精神保健研究室長

2004年慶應義塾大学医学部卒。横浜市立市民病院で初期臨床研修開始、2006年慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、国立成育医療研究センター子どものこころの診療部、大阪府立精神医療センター児童思春期科、2014年福井大学子どものこころの発達研究センター特命助教(福井大学附属病院子どものこころ診療部外来医長兼務)、2016年金沢大学子どものこころの発達研究センター特任准教授(金沢大学病院子どものこころ診療科副科長兼務)、2016~2017年米国ヴァンダービルト大学小児科部門留学などを経て、2019年4月より現職。

専門: 児童精神医学、発達障害の嗅覚特性、発達障害児へのテクノロジーを用いた支援